

12月議会に提案された補正予算



【一般】

- ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 210万円
自立支援プログラムの策定を受け、求職活動を行うひとり親世帯に対し、住宅支援資金を貸し付けるもの。マッチした就職ができれば返還免除。(4万円の12か月分を10名分)
- 地方創生移住支援事業 1,560万円
東京23区から熊本市への移住者に対する助成金。
1世帯100万円、単身世帯の場合は60万円で18件分
*当初予算に10件800万円を予算化していたが、予定を超える応募があったために拡充するもの。(28件の応募)
- 世界マスターズ水泳選手権開催経費 200万円
2022年5月に、福岡をメイン会場に開催予定の世界マスターズ水泳選手権の水球部門がアクアドームでの開催となるためにその運営補助を行うもの。(2022年度300万円を予算化)
- 農地等災害復旧経費 4,152万円
今年8月の豪雨災害で被災した農地・農業用施設等の災害復旧経費 (286カ所分)
.....
*この他、2022年度以降の支出として、市有施設のLED化を進める経費(13年で13億円)も提案されています。

【新型コロナ対策関係】



- 人件費の増額 3億9,000万円
新型コロナへの対応によって増えた時間外勤務は、2020年度約10万時間でしたが、2021年度はそれが2倍の20万時間になる見通しとなったことから、時間外勤務手当を増額するもの。
- 就労系障がい者福祉サービス事業所への支援拡充 1,000万円
就労系障がい者作業所の生産活動再開に必要な設備のメンテナンス等に対する助成を行う。(1カ所50万円で、20カ所)
条件は、対象施設(170施設)のうち、50%以上または30%以上が3カ月の業績落込みがあった事業所。
- 児童養護施設等の感染防止対策 3,280万円
児童養護施設等で使用するマスク等の購入費及び個室化等に対する助成の2次募集 (上限800万円で15カ所分)

～ 上野みえこ議員の一般質問 ～

日時:12月2日(木) 午前11時10分～12時10分
場所:市役所議会棟 5階・本会議場

- *傍聴受付は、議会棟5階です。
どなたでも傍聴できます。
- *直接傍聴の場合は、感染予防対策にご協力ください。
(検温・手指消毒・マスクの着用など)
- *インターネットでの同時中継は、**熊本市議会 HP**で

【質問項目】

- ・新型コロナ対策(検査の拡充、暮らしと営業への支援など)
- ・原油高騰対策 ・気候危機への対応 ・市庁舎整備問題
- ・高齢者・障がい者等にやさしいまちづくり など

日本共産党
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1
発行:日本共産党熊本市議

NO. 1259
2021年11月28日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP:共産党 熊本市議団



上野みえこ
(中央区)



なすまどか
(東区)

12月議会に提案されている議案の主なもの

日本共産党熊本市議会だより 2021年11月28日号 (No.1259)

くまもと街なか広場・辛島公園等の指定管理者決まる

くまもと街なか広場・花畑公園・辛島公園を管理する指定管理者を指定する議案が提案されました。選定されているのは、九州産交ホールディングス(株)・RKK・KKT・コングレ(株)の4社で構成される「花畑広場みらい創造共同企業体」です。

産業文化会館解体を含めれば、これまで40億円もかけて整備されてきました。しかし、都市公園である辛島公園まで含め民間に委ねる指定管理者制度導入は、市民の財産を企業の儲けに差し出すものです。

花畑広場・シンボルプロムナード等工事 4,270万円増額

総額40億円の花畑・辛島公園等の整備のうち、花畑広場・シンボルプロムナード等整備と、花畑広場から地下通路へ穴を掘るサービス棟建設に総額11億2,620円が使われました。今議会には、10億8,350万円

であった工事費をさらに4,270万円増額した契約額変更が報告されました。今議会に提案のひとり親家庭支援210万円、障がい者作業所支援1,000万円と比べ、開発ハコモノ整備優先の異常さが浮彫りです。

千葉城町のNHK跡地の用地取得に16億8,000万円

「特別史跡熊本城跡保存活用計画」に基づき熊本市がすすめている「千葉城地区保存利活用事業」の一環として、NHK跡地11,794㎡を取得する議案が出されています。(取得価格16億8,000万円)

2019年6月文化庁より「特別史跡」に追加指定されました。千葉城地区は熊本城の旧城域内に位置し、千葉城跡として歴史的・文化財的価値が高く、遺構保存や景観保全を必要とする重要な地区です。

熊本にダムはいりません！

11.21「ダムでは命も清流も守れません」集会

11月21日、熊本市中央区の辛島公園で「熊本にダムはいりません！ダムでは命も清流も守れません」と題し、県下各地でダム問題に取り組んでいる住民が集まり、ダム建設中止やダムの撤去を求める集会が開かれ、党市議団からも参加しました。



「問題だらけ」のダムを住民は望まない

昨年7月の豪雨で甚大な被害のあった球磨川流域の人吉市・八代市坂本村・球磨郡相良村の発言と、川辺川・瀬戸石・立野・天君など、県下各地のダムの取り組みが報告されました。

ダム建設が大切な自然を壊し、観光など流域産業への悪影響、緊急放流や決壊による危険性、わずかな効果のために莫大な費用が必要となるなどの問題点が明らかにされました。

立野ダム建設は今からでも中止、安全な治水対策を！

世界の阿蘇に建設がすすむ立野ダムは、穴あきダムで、流木・土砂で穴が詰まれば、越水や決壊によって下流をダム津波が襲う危険があります。

しかも河川の洪水調節効果は

わずか40cmしかないのに、建設費1,160億円というムダな公共事業です。危険なダムは今からでもやめて、河川改修や遊水地の整備など、安全な治水対策をすすめるべきです。